

本会議における 議案質疑

今定例会では延べ10名の議員が質疑を行いました。
こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、
掲載しています。

議案第42号

市税条例の一部改正

公明党 | 日本共産党

問軽自動車税の環境性能割の賦課徴収の特例の改正内容について伺う。

答自動車メーカー等の不正行為によって軽自動車税環境性能割や種別割の税額に納付不足額が生じた場合、当該自動車メーカー等から納付不足額を徴収する際に加算する割合を10%から35%に引き上げようとするもの。

問大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税の減額措置の要件は何か伺う。

答築後20年以上が経過している10戸以上のマンション等で、長寿命化工事を過去に適切に実施し、修繕積立金を引き上げたことで管理計画の認定を受けるまたは助言等により長期修繕計画を適切に見直し、令和5年4月1日から令和7年3月31日までに工事を完了することである。

問木材の輸入自由化が国産木材価格下落、林業労働者の減少、森林の荒廃を招いた。さらに国の推進する林業「成長産業化」の短期一斉伐採等は森林環境保全への懸念もある。森林環境税は法人にも課税されるか。

答森林環境税の納税義務者は個人とされており、法人には課税されない。

問東日本大震災を受け防災施策対応で納めていた税が、名目を替えて同額千円の森林環境税となるが、市民にとっては負担増ではないか。

答令和5年度で防災施策のための臨時措置は終了する。森林環境税は令和6年度から課税されるので、市民は新たな税を負担することになるため、丁寧な説明、周知に努めたい。

議案第44号

資源化センター熱回収施設定期整備 工事請負契約

初雁自由政令会

問熱回収施設定期整備工事の内容はどう決定しているか。

答昨年度に実施した点検の結果を基に、施設建設メーカーおよび運転管理業者にヒアリングを行い決定した。

問耐用年数20年の残り6年間における施設の整備計画は。

答毎年行っている点検結果によれば、機器類の老朽化が顕著に認められ、今後も整備範囲が拡大する傾向となっ

ており、今後、ごみクレーン、スラグ冷却装置等の整備を計画している。引き続き、市内のごみ処理に支障が生じないように努めていきたい。

問施設の将来計画はどのように考えているのか。

答資源化センター熱回収施設は、経年による機器類の老朽化が認められるため、周辺地域の方々のご意見等も踏まえ、計画的に事業を進めたいと考えている。



定期整備が行われる資源化センター熱回収施設

議案第45号

蔵造り資料館店蔵耐震化工事請負契約

川越志政会

問議案提出に至るまでの経緯について伺う。

答平成29年度契約の工事が翌年度に契約解除となったことから、今後の事業方針の見直しと進め方の検討を行った。その結果、店蔵からの復原および耐震化を行うこととし、実施設計を経て、このたびの議案提出に至った。

問蔵造り資料館耐震化事業の内容について伺う。

答解体保管してある部材を適切に修復して建築当初と同様の伝統工法で組み立て、店蔵本体の健全性の回復を図るとともに補強を行い、効率的な耐震化を行う。

問敷地内建造物全体の検討状況について伺う。

答一番街の町並みの早期復原のため、店蔵からの復原および耐震化を行い、店蔵以外の建物は、狭隘な敷地形態による作業性の問題等から段階的に実施する予定である。



文化教育常任委員会の現地視察の様子